

ほんべつ 議会だより

No.71

平成26年11月15日発行



わたしたちのカーレーは地産地消よ

10月8日 JA青年部の農業体験（仙美里小学校）

会

8月11日

新体制でスタート

議長に方川一郎氏 副議長に林武氏を選任

任期満了に伴う本別町議会議員選挙が7月19日に行われ、新人議員3人、元議員1人を含む12人の顔ぶれが決まりました。初議会となる第4回臨時会は8月11日に招集され、常任委員会、議会運営委員会など議会構成を決定したほか、監査委員の同意を行いました。

このうち、正副議長選挙は、議員12人による無記名投票で行い、議長には方川一郎議員（8票）を選出しました。副議長には林武議員（7票）を選出しました。

7月19日の選挙におきまして、11人の議員の皆さんとともに当選をさせていただき、本日、議長の要職につくことは、身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感しております。これから4年間、私も議長という立場で公正・公平な議会運営を進めてまいります。

また、本町議会は、これまで22項目にわたる議会活性化を取り組んでまいりましたが、新たな項目も追加しながら、議会改革・活性化に取り組むことが、皆さん方が選挙で訴えたこと、

町民の皆さんにお約束をしたことに応えることであり、私たちに課せられた職務であります。議会と町は両輪のごしといわれておりますが、二元代表制のひとつである議会の大きな役割は、行政をチェックし、条例や政策を提言していくことが重要な仕事となります。そして、時には住民の福祉をよりいっそう推進する「アクセル」となり、時には行政の「ブレーキ」となつて機能することだと考えます。議員として、その役割と責任を果たすことが、町政発展の大きな力ギとなるのです。そのためには、本町全体のことを考え、日々ご研鑽をつんでいただくことが重要です。

町民の皆さんには、これまで以上のご指導、ご協力をいただきますようお願いを申し上げますとともに、本別町のさらなる発展を願い、議長就任にあたりまして、ご挨拶とさせていただきます。

本別町議会

議長 方川 一郎

委員会の構成

総務常任委員会

委員長 高橋 利勝
副委員長 小笠原 良美
委員 阿保 静夫
大住 啓一
矢部 隆之
山西 二三夫

産業厚生常任委員会

委員長 方川 英一
副委員長 篠原 義彦
委員 林 武
黒山 久男
藤田 直美

広報広聴常任委員会

委員長 阿保 静夫
副委員長 藤田 直美
委員 篠原 義彦
矢部 隆之
山西 二三夫

議会運営委員会

委員長 小笠原 良美
副委員長 山西 二三夫
委員 阿保 静夫
方川 英一
高橋 利勝

一部事務組合議会議員

池北三町行政事務組合議員
山西 二三夫
大住 啓一
藤田 直美

初 議

議会構成決まり



高橋 利勝
当 7 65歳



阿保 静夫
当 7 56歳



副議長 林 武
当 6 77歳



議長 方川 一郎
当 5 65歳



山西二三夫
当 4 68歳



黒山 久男
当 4 72歳



小笠原良美
当 4 66歳



方川 英一
当 5 68歳



矢部 隆之
当 1 64歳



藤田 直美
当 1 48歳



篠原 義彦
当 1 66歳



大住 啓一
当 2 61歳

**12月定例会は3日から
予定しています**

私たちの住むまちの議会です どなたも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか

監査委員

黒山 久男

十勝環境複合事務組合議会議員
方川 一郎

十勝圏複合事務組合議会議員
方川 一郎

第3回定例会

社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）導入に伴う 条例整備に係る補正予算等を可決

平成26年第3回定例会は9月9日に開会し、一般質問のほか一般会計他6会計の補正予算、子育て支援にかかわる条例の制定などを審議しました。審議された主な内容は次のとおりです。

条例改正

・本別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

保育のサービスの質を確保するために、子ども・子育て支援新制度の実施主体である町が、事業運営の基準を定め、基準を満たしているかどうか確認を行う必要が生じたため制定します。（既に認可されている常設保育所、幼稚園が該当）

・本別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

子ども・子育て支援新制度により町が運営基準を定める、地域型保育事業（保育ママ、小規模保育、事業所内保育、ベビーシッターの4事業）に

ついて、その事業実施の認可基準を定める必要が生じたため制定します。

・本別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援新制度により町が基準を定める必要が生じたため制定します。（学童保育所が該当）

問

①仙美里、勇足保育所はこの条例のどこに該当するのか。

②保護者が働いていなくても入所できるよう緩和されるのか。

答

①へき地保育所はこの条例に入っていません。条例中の、小規模型保育等に移行すると0歳から預かることになるため、常設保育所と同基準になり、保育料が上がる

など課題が出てきます。

将来ニーズをしつかりつかみ、地域や子ども・子育て会議の中で検討していきます。

②パートの方も利用できるようになりますが、パート時間の下限を子ども・子育て会議の中で諮って決めます。



おいしいよ（中央保育所）

一般会計補正

マイナンバー制度

①個人情報の洗い出とは、どのように行っていくのか。

②実際の運用になった場合、番号1つ違つと申請書類等は無効になるのか。

答

①本町において事務を取り扱っている全ての個人情報を読み出し、特定個人

情報に該当するか否か判断、評価を行います。

②個人と番号が違う場合は、後ほど訂正か修正がされると思います。番号自体は一生のものです。

太陽の丘野球場横の道路整備

①今回の補正予算で、今年度中に完成するのか。なぜ当初予算で計上しなかったのか。

答

道路の改良は完成しますが、舗装工事が一部残ります。最終年の地域の元氣臨時交付金を有利に活用するため、補正で対応しました。



太陽の丘野球場道路整備

平成26年度 各会計補正予算

会 計		(補正額) 補正後の額	主 な 内 容
一 般 会 計		(1億2,276万2千円)	新町集会場ほか13施設改修工事 【介護基盤緊急整備特別対策事業 (防災改修等)】 農業振興基金積立金、銀米橋撤去工事、 多目的アリーナ電気設備修繕 (臨時会)
		(9,678万円) 66億7,008万5千円	社会保障・税番号制度導入に伴う経費 小児水痘ワクチン、高齢者肺炎球菌 ワクチン接種 町道太陽の丘通り道路改良工事 旧保健所住宅購入及び改修工事 (定例会)
特 別 会 計	国民健康保険	(1億2,867万円) 13億3,868万8千円	高額療養費窓口負担上限見直しによる 電算システム修正 決算確定による繰越金精算
	後期高齢者医療	(38万2千円) 1億2,508万円	決算確定による繰越金精算
	介護保険事業	(114万8千円) (2,129万3千円) 8億9,083万4千円	地域ケア会議充実のための研修会、 先進地研修等経費(臨時会) 決算確定による精算償還金(定例会)
	介護サービス事業	(20万円) (108万3千円) 2億7,307万円	車椅子購入(臨時会) パート、代替賃金執行見込みによる調整 洗濯機、掃除機、入浴用移動椅子、 冷凍庫購入(定例会)
	簡易水道	(65万3千円) 1億1,390万7千円	勇足浄水場検水ポンプ電磁接触器修繕
	公共下水道	(284万円) 5億4,128万1千円	污水管渠新設工事 終末処理場機器更新工事 浄化槽新設工事1件追加分

※第3、4回臨時会含む

介護サービス事業
特別会計補正予算

特養ホーム代替賃金

問 パート賃金が減って、
代替賃金が増になってい
るが理由は。

答 新年度からパートが1
人減り、9月まで募集を
しましたが応募者がいなかった
ので、代替介助員で対応してき
たためです。

人権擁護委員候補者に

福家立雲氏

(朝日町)

12月31日に任期満了とな
る人権擁護委員の新任推薦
は「適任」と答申しました。

第3回臨時会

開催日 7月2日

一般会計補正予算

低所得高齢者住まい・生
活支援モデル事業

問

①委託料414万円の
補正予算だが、事業の内
容の説明を。

②空き家物件情報サイト作成
委託料45万円の内容は。
③モデル事業の期間は。

答

①低所得高齢者住ま
い・生活支援モデル事業
を活用して、空き家の実態調査
をし、情報の提供を行なって住
みかえなど生活支援を一体的に
進めていく予定です。
②今回のモデル事業に合わせ
て備えた中で、空き家の物件サ
イトを立ち上げて来年度から稼
働できるように進めます。
③事業の補助年数は3年以内
なので、長くて3年以内に一
定の対策を打つ考えです。



点在する空家

問 介護基盤緊急整備特別対策事業
町内の集会場など、14
施設を集中的に改修する
が、工期はいつまでか。

答

冬に入る前には実施し
ていきます。

第4回臨時会

開催日 8月11日

平成26年第4回臨時会におい
て次のとおり承認、可決されま
した。

- ・専決処分の承認を求める件
「平成26年度本別町一般会計
補正予算(第7回)」承認
- ・平成26年度本別町一般会計補
正予算(第10回)について

可決

一般会計など9会計の決算を認定

9会計の総支出額は127億2千4百万円、一般会計は前年比8億7千3百万円増の78億1千6百万円で認定

第3回定例会で付託された平成25年度各会計決算審査特別委員会（高橋委員長）は9月30日、10月1日に開催し、9名の委員から92項目の質疑があり、審査の結果、9会計の決算を認定しました。主な審議内容は次のとおりです。

一般会計

旅費の支出

問 早割の飛行機等、旅費の扱いはどのようになっているか。

答 早割等の安い料金で対応するように周知しています。



出張は早割利用で

メンタルヘルス

問 職員研修を行って、いるようだが今後の対応は。

答 職員全員に研修参加を呼びかけ、病気になるない職場づくりを目指しています。また、心の健康マニュアルを作成し、こころの健康増進のため活用しています。

防災用資機材

問 防災用品800人分を備蓄計画しているが備蓄内容は。

答 5カ年計画で人口の約1割程度を想定し備蓄します。食糧、飲料



防災用品の備蓄場所、ふるさと産業開発センター

勇足元町バス待合所整備

問 なぜ勇足元町の待合所の整備なのか、経緯は。

答 もともと駅のあった所で、本別駅、仙美里駅、岡女堂駅はそのまま待合所に、南本別駅は乗降者が少なく地域の要望も受けていないので北糖の前に整備しました。

勇足駅は、国道からかなり離れているため、地域との協議の中で国道沿いに簡易な物を整備してきましたが、近年、地域から寒いとの要望を受け囲いのある待合所に整備をしました。

貸切バス借上

問 借りる中身についての検討の経緯は。

答 見直しを図っており、条件はありますが、一自治会当たり、1回は使えます。また11人以上のレンタカーも利用ができます。

パスポート発行

問 25年の発行状況は。

答 125件です。（取扱いは住民課戸籍年金担当）

障害者雇用推進事業

問 社会福祉総務費の臨時雇賃金にチャレンジ雇用の方は含まれているか。

答 一人含まれています。

問 仕事の内容や就労の様子は。業務経験を生かして次のステップへ行けたのか、継続雇用はされるのか。

答 パソコン入力作業や文書作成など事務補助です。電話の対応も最近慣れてきており、来春には一般就労を目指しているところです。単年度契約で同じ方を継続して雇用しています。

広域保育

問

広域保育の決算がないが、申込者がなかったのか。

本別から他町へしばらくの間滞在するときに、その保育所に預けられるのか。

答

平成25年度はありませんでした。

条件がありますが、お産で実家に行く場合、また逆に来る場合に利用されることが多いです。また、(例えば、卒園を間近に控えながら親の)転勤等があった場合も、引き続き他町から通うことが可能です。



広域保育に対応する中央、南保育所

心の健康相談

問

①こころのほっと相談の利用人数と、相談内容は。

②メンタル面を気づいてあげられる人材育成については。

答

①利用件数は31件、実人数で19人です。

職場での人間関係、家族関係や子育ての相談が多いです。

②地域や職場の方で相談窓口の橋渡しの役割を担う方を育てるゲートキーパー養成事業を取り組んでいます。

森林整備

問

循環型の山づくりのために更に啓蒙をしていく考えは。

答

森林組合と連携しています。進めなければと考え、また、町のPR活動の推進や森林組合からも森林組合などによりなどPR活動をいただいています。

鹿の捕獲

問

①24年度と比べ、鹿の捕獲数が減った要因は。

②農業者から懇切丁寧な対応を求める声が聞こえませんが、どのように捉えているか。

答

①鹿柵の設置や降雪が少なかつたため鹿が分散したと考えます。

②スピード感がないなどのご意見がありますので、解消に向け取り組んでいます。

太陽の丘野球場

問

どこまでの大会を想定しているか。

答

小中学校の十勝東北部方面大会や本町の社会人野球などで、プロ野球や高校野球などの十勝大会の誘致は想定していません。



建設中の太陽の丘野球場

メガソーラー貸地の草刈り

問

草刈り等の管理はどのようになっているか。

答

管理は契約段階で事業者が草刈りの時

基金の出動

問

基金を崩し、地域の経済の波及に貢献すべく、しっかりと取り組んでもらうことが大事だが、今後どのように出動を考えているか。

答

基金については、災害、大きな景気対策、大型事業、国の交付税の動向によって、一定の歳入を確保しなければならぬときは、出動させながら財政の安定を図っていくというのが基本的な考え方です。その時の社会情勢、財政状況などを踏まえて最大限活用していきたいと考えています。

総括質疑

問

本町が実施している各施策において、特に大きな課題は定住対策と人口減対策だと思います。平成25年度決算でこの2つの対策で意識した施策は。

答

総合計画を基本に、企業誘致や新しい起業家を含めた中で、第1次産業の資源を利用し、また循環できるような産業を再興をする、その第一歩にしようとする執行を行ってききました。

定住は、やはり雇用等の場をしっかりとつくる、安心して子育てできる環境や条件整備をしていく、住宅のこれからのありよう、小規模でも本町で起業家してくれる時の支援など、町民の暮らしにとっての支援策について、一定の目標の成果が表れた決算だと思っています。

介護サービス事業特別会計

問

①特別養護老人ホームへの申込みの人数と傾向は。
②待機者に対してどのような対応をしているのか。

答

①申込者は117人です。毎年増減がありますが、増加傾向と捉えています。
②入所が緊急的に必要な方については、他の施設などを利用し待っている方もいますが、空きができた次第入所してもらっています。

水道事業会計



営農用水

問

水道料金の値上げを考えているか。

答

平成28年度に向け水道料金と一本化したいと考えていますが、上水道料金を据え置くかについては、使用料等審議会において検討していきたい。

また、消費税があげれば、その分は負担をしていただきたいと考えています。

議会用語の解説

《決算審査特別委員会》

「決算審査」とは、議会が決定した予算が適正に使われたかどうかを審査するものです。各種資料に基づいてその行政効果や経済効果を測り、住民に代わって行政効果を評価する、あるいは問題点を指摘するという極めて重要な仕事です。

また、審査の結果は後年度の予算づくりや行政の推進に生かされるように議会も行政も努力すべきものとされています。

委員会の構成は、議長と議会選出の監査委員を除く10人の議員で、「決算審査特別委員会」を設置し、主に9月末～10月始め頃に開催しています。一般会計及び特別会計、企業会計の9会計について審査します。

審査結果（認定・非認定）は12月の定例議会でも報告し最終的に決定します。

写真で見る議員活動

長崎県松浦市議会視察研修来町

○ごみのリサイクル事業の取り組み
9月25日



○人の波運動

9月22日



一般質問

5人の議員から9問



行政・経済

消防広域化の状況について

答 住民説明は、地域の皆さんに責任を持って説明します



大住啓一議員

大住議員 消防は、地域の皆さんの生命と財産を守る重要な行政組織です。また消防団は地域に密着し、献身的な活動をしている組織です。

消防広域化については、平成27年度に各種準備を進め、平成28年4月に運用開始の予定とのことです。12月議会に名称を「十勝広域消防事務組合」と定めた規約案を提出し、管内19の市町村の議会議決が整った後、来年2月頃知事に対し、新たな広域消防組合設置について許可申請を行うとの報告がありました。町民の皆さんや消防団の方々に對する説明を12月までの2カ月位

の期間でどの様に進めるのか、町長の考え方を伺います。

高橋町長 十勝圏の広域消防運営計画に基づき現行の出動区域を基本として直近署所からの出動を図り、消防団との連携は現行どおり維持することとしております。出動区域の見直しが表示されましたが、その検討結果を必要に応じ消防団に説明をしていく考えです。住民説明は、責任を持って地域の皆さんに不安のないように説明し、28年4月にスタートします。



本別消防署

企業誘致による本町への影響は

答 現在の従業員は18人です。造林事業の強化を図ります

大住議員 カラマツ梱包材製造最大手の本別工場が本年完成しました。本町への経済効果は大きいと思いますが、町長の考え方を伺います。

①従業員は、現在何人ですか。その内、地元本別町に住所のある方は何人ですか。

②原木は、町有林・民有林でかなりあります。伐採が終わった後、どのような形になるのか心配している町民の方々がおります。現在の状況と造林事業に対する考え方は。

高橋町長 ①従業員は21人でスタートし、現在は18人です。そのうち、町内在住者が10人で町外から8人が通勤しています。

②町有林のカラマツ売り払いについては、誘致企業も含めて競争入札により財産処分をしています。

造林事業・植林事業につきましては、国や道の補助金を

活用し、更に森林組合等と連携を図り、林業振興と造林の強化を図ってまいります。



南地区工業団地

ものしり博士

バイオマスエネルギーとは

CO₂の発生が少ない自然エネルギーで、古来から薪や炭のように原始的な形で既に身近に利用されています。エネルギーになるバイオマスの種類としては、木材(木くず)、海藻、生ごみ、紙、ふん尿、プランクトンなどの有機物です。



ものしり博士

バイオマスプラントとは

家畜ふん尿や生ごみといった再生可能エネルギーの一つであるバイオマスを嫌気性の微生物が分解することで発生するバイオガスを製造・収集する施設です。バイオガスはメタン60%、二酸化炭素40%と水分、わずかな硫化水素を含んでいます。バイオガスは燃料として利用し、電気や温水、蒸気などの熱エネルギーを施設内で使用する他に、余剰分の電力は売電しています。



暮らし

答 バイオマス活用の考え方は
できれば民間企業の参入を得ながら進めたい



阿保静夫議員

阿保議員 管内、道外のバイオマスプラントの視察研修を、議会と行政が一緒に行っていました。今後の方向性について伺います。

① 町民の皆さんへの説明責任は当然ですが、本町におけるバイオマスプラント建設の必要性・必然性についての考え方は。

② 議論の場を作ると共に、専門家や既設の施設関係者の意見等を聞く場を設ける必要があると考えますが。

高橋町長 ① 汚泥、生ゴミ、家畜糞尿等の処理が課題であり、バイオマスプラントの必要

性について庁内のプロジェクトチームで協議を進めています。できれば民間企業の参入を得ながら進めたい。

② 節目ごとに報告して協議していきたいと考えます。また、バイオマス活用の全体像を示しながら、今年度末を目標に方向性を出していきたい。



宮城県白石市のバイオガスプラント

答 エネルギーの地産地消の意識を
しっかり持っていきます



高橋利勝議員

高橋議員 本別町地球温暖化対策について以下3点について伺います。

① 大規模太陽光発電の進捗状況と今後の考え方は。また、本町エネルギーの地産地消としてバイオマスエネルギーの推進は大変重要だと思いが。

② 本別町地球温暖化対策実行計画の推進状況と今後の考え方は。

③ 温室効果ガスの平成30年度までに25%削減目標達成の可能性は。

高橋町長 ① 大型太陽光発電の誘致は進んでいます。これ以上は送電線などの問題も



バイオガス発電機(新潟県村上市)

あつて困難です。今後は中小規模の取り組みができるよう要請していきます。また、バイオマスエネルギーは本町のエネルギーの地産地消として大変重要だと思っています。

② 本別町地球温暖化対策実行計画は、公共施設のソーラーパネル化、公共施設、街路灯のLED化などにより推進して来ましたが、引き続き取り組みでいきます。

③ 温室ガスの25%削減はクリアできるように努力していきます。

福祉灯油事業の支援拡大を

答 灯油・電気・薪等を問わず幅広く支援



山西二三夫議員

山西議員 昨年も実施した低所得者世帯などへの福祉灯油事業について、事業の継続と支給対象拡大について伺います。

① 灯油の高騰は低所得者世帯には重荷となります。福祉灯油事業による支援を今年も考えるべきでは。

② 支給対象は、灯油使用世帯への灯油利用券としていますが、暖房の方法は灯油に限らず薪、電気などの世帯もあるため、灯油利用世帯以外にも支給すべきと考えます。

また、支援方法としては、電気、薪など燃料の種類を問わず対応でき、町内業者の活性化にもつながる商品券の活用は。

高橋町長 ① 一定の収入額以下の世帯と生活保護世帯へ灯油購入費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ってきました。今年も福祉灯油事業は実施の方向で進めます。

② これからは、灯油、電気、薪などを問わず幅広い支援体制をとっていきます。支援方法は、愛町購買、町内の地域振興を図る観点で協議していきます。

軽度の方の特別養護老人ホームへの入所が厳しくなるのでは

答 本町としては現行と変わらないと受け止めています

高橋議員 国は介護保険法の改正を行い、平成27年度から見直します。そこで以下4点について伺います。

① 介護保険法改正に伴う見直しに対してどのような体制で臨んでいるのか。

② 特別養護老人ホームの新規入所は要介護3未満の介護者の入所が困難になるのでは。

③ 介護者の訪問介護、通所介護が市町村の地域支援事業に移行になるが。

④ 介護従事者の処遇改善、労働環境整備の充実を求める声があるが。

高橋町長 ① 地域関係機関と十分に相談し、健康長寿のまちづくり会議での意見をいただくながら進めていきます。

② 要介護1・2の方の特例入所については、国の指針が示されますが、本町としては

現行と変わらないと受け止めています。

③ 訪問、通所介護は市町村の地域支援事業に移行されます。地域の実情にあわせたサービスの充実を目指します。

④ 介護従事者の処遇改善、労働環境の整備については、国でも検討していますので、しっかりと取り組みを強化します。



今年も福祉灯油は継続



特別養護老人ホーム

暖房費（電気・灯油）高騰に対する対策と公共施設への影響は

答 福祉灯油事業は拡大して対応します
公営住宅はオール電化で建設します

大住議員 暖房費（電気・灯油）ですが、高騰に対する対策と公共施設への影響について伺います。

① 厳冬を迎える時期となり、暖をとることは極めて重要なことです。電気料金の値上げの動きや、灯油の高騰を踏まえ、過去に実施した福祉灯油事業の政策を講じるべきと思いますが。

② 急激な電気料金の値上げや灯油・重油の高騰は本町の公共施設にも影響があると思います。又、公営住宅は近年オール電化により建設しています。将来に向け公営住宅、公共施設を建設する場合、別の方法で建設することも検討すべきと思いますが。



オール電化の栄町団地

高橋町長 ① 福祉灯油事業は拡大し、幅広く対応します。

② 公共施設の影響は、約2千万円弱ぐらいです。公営住宅の建築は、地域住民の安全性を考慮して、火を一切使わないオール電化方式をとっていきます。

本別公園一帯の安全管理（倒木・落石）について

答 森林管理署としっかり連携し対応します



黒山久男議員

黒山議員 本別公園一帯の国有林では近年古木が多く見うけられ、大雨や風により倒木や落石の心配があります。

本年7月23日に羽衣橋公園側で倒木があり遊歩道をふさぎました。一歩間違えがあれば事故にもなりかねません。本町と森林管理署が連携を取りながら、今後安全管理の強化を図るべきと思いますが考え方を伺います。

高橋町長 観光の一番大事なときに事故などあったら大変なものです。今回のようなことを経験して、危険木の除去だとか、危険箇所の点検も再度、重点的にさせていただき

ながら、倒木や落石の起きないように、しっかりやっていきたいと思っています。観光協会としても新しい遊歩道の整備なども含めてしっかりとっていただいています。

あわせて森林管理署との協力をいただきながら、対応していきたいと思っています。来年4月の再契約でも、事前協議もさせていただいて、森林管理署と連携して対応させていただきます。



羽衣橋近くの倒木

旧仙美里中学校の利活用について

【答】仙美里地区の活性化に結びつく利活用を検討します

大住議員 仙美里中学校は平成26年3月をもって閉校となりました。地域の人たちにとっては、寂しい思いのことと察しています。

校舎・体育館の利活用について、今までの経緯と今後の対応について伺います。役場内部に新設した「仙美里中学校施設等利活用検討委員会」で検討した結果や、町として進めてきた「特別支援学校高等部」の誘致結果を地域の方々に説明すべきと思います。建物は時間を空ければ空けるほど傷みが早いと申します。十勝管内でも、小規模の介護施設や工場として活用しています。これらのことを踏まえ、今後の対応について考え方は、

中野教育長 特別支援学校の誘致活動を展開してきましたが、北海道教育委員会は新得高校に特別支援学級2間口の新設を決定しました。今後は、

仙美里地区の活性化に結びつく施設として活用できるように、総合的な見地から利活用先を検討してまいります。



利活用が課題の旧仙美里中学校

十勝議員研修に参加

10月17日、鹿追町において開催された十勝町村議会議員研修会に参加してきました。

講師は、野村アグリプランニング&アドバイザリー株式会社、取締役社長、西澤隆氏で「地域活性化とアグリビジネス」について講演がありました。



議会広報研修

8月22日札幌市において議会広報研修会が行われました。広報広聴常任委員会から3人の委員が出席しました。

広報コンサルタントの芳野政明氏から「読まれ、親しまれ、議会活動が伝わる」と題して、議会報の基本である役割とあり方の説明の後、実際の編集技術について、優良広報紙を例にわかりやすく講演がありました。

研修で得たことを今後の広報紙づくりに生かしていきます。



意見書

第3回定例会に7件の意見書が提出され、6件が原案可決しました。要旨については、次のとおりです。

2015年度予算（介護・子ども）の充実・強化を求める意見書

介護保険制度においては、地域間格差やサービスの低下及び福祉労働者の処遇低下を招くことなく制度の充実をはかるとともに、子ども・子育て支援新制度においても、保育の質を改善するために必要な財源及び予算の確保を求めます。

提出者
黒山久男



電気料金の再値上げ認可を行わないよう求める意見書

北電は電気料金の再値上げの認可を国に申請しました。家庭向けも企業向けも道民の暮らしと営業に重大な影響を及ぼすものであり、国は認可申請に対し、厳しい姿勢で臨み、認可しないことを求めます。

提出者
阿保静夫



林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

一、森林整備から木材の利用促進の取り組みを支援するため森林整備加速化林業再生基金の継続関連施策の充実強化を図ること。
二、地球温暖化対策のための税の使途に森林吸収源対策を追加し森林整備促進の安定的な財源を確保すること。

提出者
高橋利勝



「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書

障害者権利条約は、言語とは音声言語及び手話その他の形態の非音声言語と定義されています。「手話で学ぶ」などの権利を保障するためには、専門法である「手話言語法（仮称）」の制定が必要です。「手話言語法（仮称）」を制定するよう強く求めます。

提出者
高橋利勝



釧路地方裁判所帯広支部における労働審判の実施を求める意見書

十勝地方の住民、企業が労働者と事業主との間に生じた紛争を解決するためには、釧路地方裁判所まで出向かなければならず、申立ての障害となっているので、釧路地方裁判所帯広支部でも取り扱いを開始するとともに、裁判官の増員並びに施設の整備を行うよう要請する。

提出者
小笠原良美



ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

B型・C型肝炎の患者が350万人以上にのぼるのは、明確に国の責任である。しかし、医療費助成の対象が2種類に限定され、助成対象から外れる患者が相当数にのぼるため、ウイルス性肝炎・肝がんに係る助成制度を創設し、身障手帳の認定基準を実態に応じた制度にすること。

提出者
黒山久男



オスプレイの配備、訓練地域拡散に反対する意見書

防衛省はオスプレイの訓練移転先として、北海道をはじめ、全国で5カ所を候補地としているが、構造的欠陥が指摘されているオスプレイの訓練地域拡散と配備には反対します。

提出者
阿保静夫



反対討論 林議員

オスプレイは、人員輸送をする目的でつくられています。佐賀空港にオスプレイ2機配置するのは、我が国におかれては地理上、最小限の措置だと思っています。この意見書が、採択されると、北海道本別町議会として送付されます。政治色の濃いこの意見書には、一議員として看過することはできません。よって、この意見書案には反対です。

賛成討論 高橋議員

オスプレイの配備にあたって、二つの懸念を持っています。一つには、2012年の普天間基地への配備直前にも、モロッコやフロリダ州などで墜落事故を起こし死傷者を出している、そういう危険性のある兵器であるということです。もう一つは、オスプレイは米海兵隊が任務とする他国への侵攻作戦を強化するために導入した新型輸送機です。

したがって、私は今、安倍政権が憲法解釈の変更をして、集団的自衛権の行使をしようとしていることを考えると、オスプレイの配備ということは到底認めることはできませんので、意見書に賛成します。

採決の結果

賛成者4人 反対者7人で否決されました。

行政報告

第3回定例会において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

第3回定例会

子ども・子育て支援新制度の準備状況

「子ども・子育て支援新制度」における本町の準備状況としては、昨秋に実施しましたニーズ調査の結果を踏まえ、平成27年度以降における就学前5年間の子どもへの教育・保育や、小学生的放課後健全育成対策の必要量の見込みを算出し、その供給量と確保方策について検討しています。

今後、本別カトリック幼稚園や子育て支援関係団体などと十分な協議を重ね、より良い子育て環境の確立を目指し、事業計画の策定作業を進めます。

社会保障・税番号制度関連法の対応

いわゆる「マイナンバー法」をはじめとする社会保

障・税番号制度関連法が昨年公布され、来年10月から個人番号が付番され、平成28年1月から番号の利用開始および個人番号カードの交付が予定されています。

番号制度は、より公平・公正な負担と、きめ細やかな社会保障を実現し、国民の利便性の向上、行政事務の効率化に資するもので、災害時における被災者支援対策としても活用が期待できるものです。

本制度を円滑に導入するためには、住基システムや地方税務などの整備が必須となっており、一部、国において補助金を措置して、平成26年度、平成27年度の2力年でシステム等を整備することとされています。

北海道職員住宅・土地の購入および改修工事

本町においては、人口減少による「定住促進対策」が喫緊の課題となつています。

住宅確保については、現在の町財政を鑑みると新築による住宅取得は困難な状

況であることから、本別町共栄9番地41にある北海道職員住宅（旧保健所職員住宅）1棟2戸および土地を購入することになりました。

購入する旧保健所職員住宅



購入・改修後については、町営住宅として供用開始することにより、定住促進対策に寄与できるものと考えています。

予定では、平成27年5月頃に、広域消防組合を設立するとともに、併せて「広域消防準備室」を設置し、平成28年4月の運用開始に向け、各種事務統一などの準備を進めます。

帯広厚生病院の移転新築計画に伴う運営費補助

平成30年4月に開業を予定しており、北海道厚生農業協同組合連合会から、病院本体の建設費の財政支援の要請があつたところです。

十勝町村会としては、「公的病院等への助成に関する特別交付税措置」を活用し、運営費を助成することについての検討を要望したところ、厚生連から建設費から運営費への財政支援要請に方針転換が示されました。内容の検討を行った結果、年間3億円を上限に帯広市が7割、18町村が3

割の負担割合で財政支援する方針を決定し、平成26年度の本町の負担額は、現時点で452万円となり、12月定例会で議会に諮る予定です。

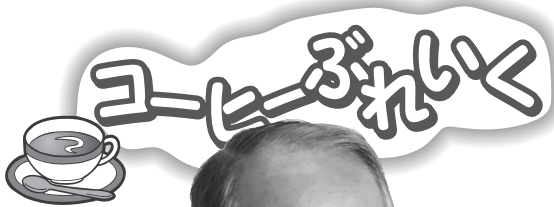
小児科診療体制の変更

小児科外来は札幌医科大学の支援を受け運営しておりますが、10月より大学医局の医師不足状況などから、縮小せざるを得ない旨の申し入れがありました。

10月からの診療体制は、第2、第4木曜日の午前、午後外来を予定しています。



本別町国保病院小児科



女性議員がふえたことは よかったと思います

北谷さんは本別町出身で、昭和43年、本別高校卒業後北海道糖業に入社し、その後東京、伊達に赴任、平成17年から子会社のホクケン役員として再び本別町に。昨年5月に退職、同年4月から南1丁目自治会長をされています。

議会や議員については「議会が改選され、女性議員がふえたことはよかったと思います。もっと女性議員がふえてもよいのでは」また、議会だよりは「毎号読んでるよ。とてもよいと

思うし、もっと厚くしては」とのことでした。

今回、初めての傍聴でしたが一般質問について、「議員から質問、提案が少ないのでは。議員が考へる町政運営施策について、より建設的で具体的な提案があればよいと思う。そして、曖昧な質問や答弁にならないように議論を深めてほしい。」「やはり、人口減、過疎化に不安があるので、本町の基幹産業である農業を軸とした関連産業を発展させ、付加価値を向上させる

取り組みが必要では」「教育レベルの向上、発信力を高めてほしい」など議会やまちづくりに対する貴重なご意見をたくさん頂きました。

現在、奥様とふたり暮らしで、趣味はゴルフ、旅行、野球観戦など。「本別はイベントがたくさんあって楽しい。ぜひ続けてほしい」とやさしい声と笑顔でお話をされていました。

議会日誌

〔 8 月 〕

- 4日 新任議員研修会、十勝圏一部事務組合議会臨時会（帯広市）
- 6日 新任議員研修会
- 11日 第4回臨時会、議員会総会、林活議連総会
- 21～22日 議会広報研修会（札幌市）
- 27日 総務常任委員会懇談会、産業厚生常任委員会懇談会
- 28日 十勝町村議会議長研修会（上士幌町）、池北三町行政事務組合議会臨時会（足寄町）



〔 9 月 〕

- 5日 議会運営委員会
- 9日 第3回定例会、議員協議会、議員会役員会
- 12日 議会運営委員会
- 17日 本会議（一般質問）
- 18日 本会議（議案審議、決算提案）
- 19日 本会議（決算提案）、広報広聴常任委員会
- 22日 産業厚生常任委員会決算勉強会
- 24日 総務常任委員会決算勉強会
- 25日 松浦市議会視察来町
- 29日 十勝林活議連役員会（帯広市）
- 30日 各会計決算審査特別委員会



〔 10 月 〕

- 1日 各会計決算審査特別委員会
- 2日 広報広聴常任委員会
- 4日 帯広市本別会（士幌町）
- 8日 林活議連役員会
- 14～16日 総務常任委員会行政視察研修（剣淵町、士幌市、和寒町）
- 17日 十勝町村議会議長会議員研修会（鹿追町）
- 20日 砂川市議会視察来町
- 24日 広報広聴常任委員会
- 27日 議会運営委員会
- 31日 広報広聴常任委員会



〔 11 月 〕

- 4～6日 議会運営委員会行政視察研修（むかわ町、沼田町、芽室町）
- 12日 全国議長大会（東京都）
- 14日 十勝林活議連・十勝林活議連協議会合同研修会（本別町）



編集後記

▼山の木々も紅葉から冬の色へと移ろい、朝夕の冷え込みも日増しにきつくなってきました。農作業もピーク収穫が終盤を迎えています。▼7月の議会選挙で改選され、広報広聴常任委員会も新しいメンバーになりました。8月には新たな委員で、全道議会広報研修会にも参加しました。研修会では、議会広報の役割がますます重要となつていくことが提起されました。▼より読みやすく、議会の様子をわかりやすく町民の皆さんに知らせることが、今まで以上に求められています。議会だよりが議会活性化とまちづくりを進めるための一助になればと考えています。2年間どうぞよろしく願います。

委員長 阿保 静夫
副委員長 藤田 直美
委員 篠原 義彦
矢部 隆之
山西 三夫



資源を大切に——
ほんべつ議会だよりは、道産間伐材を使用しています。